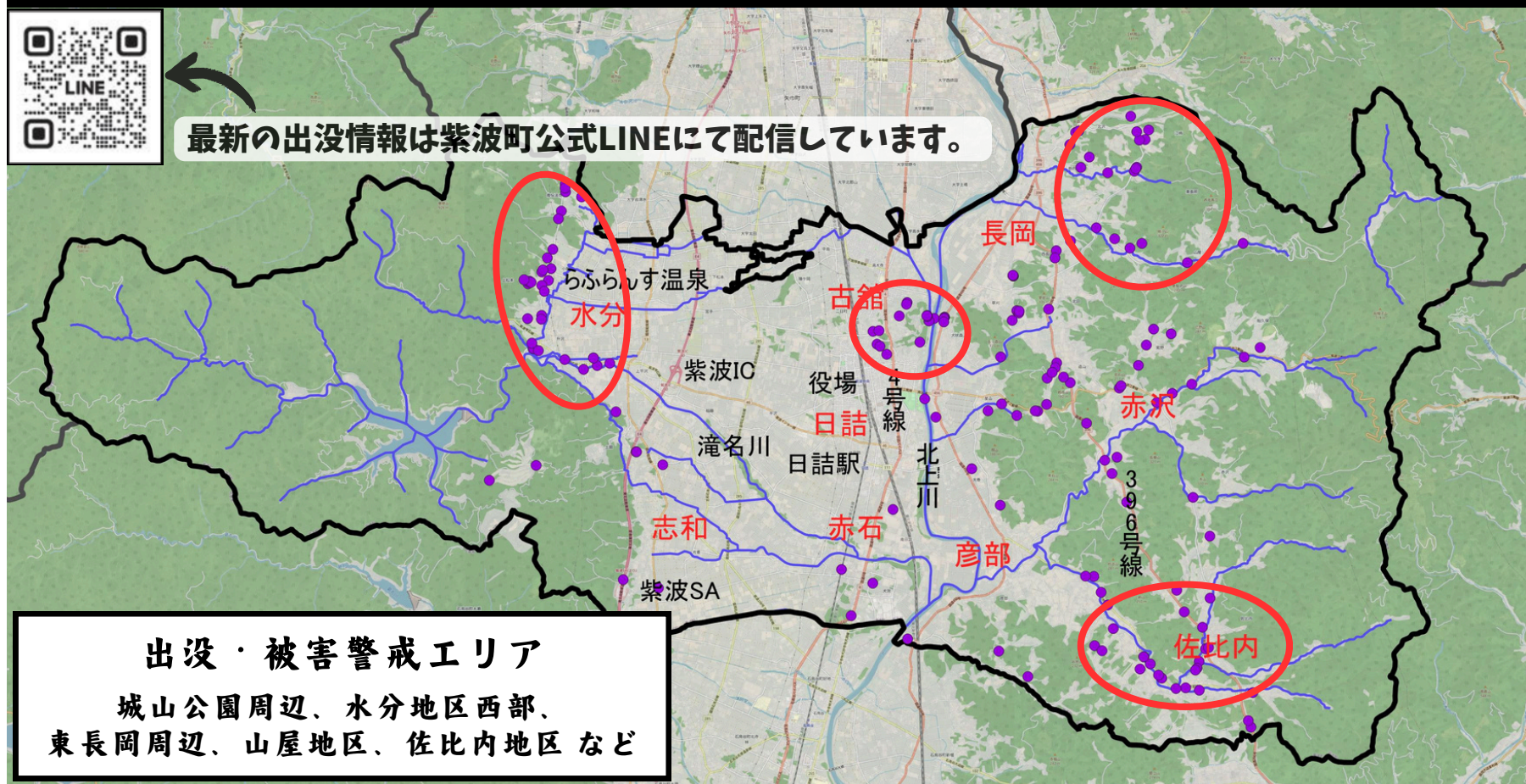


# 紫波町におけるR1～R7年のクマ出没情報（6月）



最新の出没情報は紫波町公式LINEにて配信しています。



# 紫波クマ通信

## 15号

発行  
2026年6月3日  
紫波町環境課  
地域おこし協力隊  
近藤雄太

今月の  
イベント情報  
赤石公民館講座  
「なぜクマは町にやってくるのか？」  
6月12日(金)  
10:00～11:00  
開催場所  
赤石公民館

バックナンバーは  
こちらから



今月の話題

### クマスプレーの正しい使い方

## 6月のクマ情報

6月になるとクマは桑の実や桜の実を目当てに城山公園周辺などで出没が多くなります。この時期のクマは桑や桜の実、野苺、タケノコなどを主な餌資源としているため、城山公園周辺に限らずこれらの植物のある場所ではクマと遭遇する恐れがあるということをご注意ください。

また、6月の後半ごろから早いところでは桃などの果樹にもクマが寄って来るようになります。収穫はまだ先になりますが、クマは食べごろになる前から確認のためやってくることもあるからです。周辺でクマを痕跡や出没があった方はもちろん、そうでない方も含めて収穫時期の前には一度園地の電気柵を点検して、しっかりと電圧が出ているか、切れている箇所はないかなど十分に確認してください。クマ被害にあわないためには被害を受ける前から常日頃の対策を行うことが大切です。特に今年は昨年の大量出没の影響もあり人里周辺を餌場として覚えてしまっているクマが増加していることも懸念されます。これまでは被害を受けたことがないから、近くでクマが出没したことがないからといって、今年も被害がないとは限りません。クマは一度餌があることを覚えると何度もやってくるようになる動物です。で、最初の被害を防ぐことが何よりの対策になります。今後被害を受ける可能性も見据えて、早め早めの対策を心掛けてください。

## クマの野いちご落とし



「苺離れ」、「野いちご落とし」などと呼ばれる。

クマが親離れをすることで、特に人身被害のリスクが高い子連れの母グマは減少するが、親離れをしたばかりの若いクマは好奇心が強く、人前によく姿を現す個体や町中へと迷い込んでくる個体となるリスクもあり、安心できるわけではない。

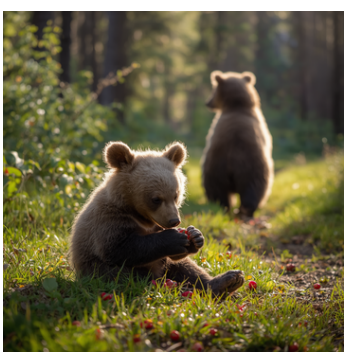
5月後半から6月にかけては子グマが親離れをする時期になる。この時期はちょうど野苺が実るタイミングにもあたり、親グマは子グマが野いちごを食べるのに夢中になっている間にそっと離れていくことで親離れをさせるという話もあり

「苺離れ」、「野いちご落とし」などと呼ばれる。

クマが親離れをすることで、特に人身被害のリスクが高い子連れの母グマは減少するが、親離れをしたばかりの若いクマは好奇心が強く、人前によく姿を現す個体や町中へと迷い込んでくる個体となるリスクもあり、安心できるわけではない。

親離れ後のクマの行動は性別によって異なる傾向があることも分かっている。一概に言えるわけではないが、メスの子グマは親グマの活動圏周辺にとどまることが多く、オスの子グマは親グマの活動圏から離れていくことが多い。その理由としては、メスのクマは食料の確保に重視するため餌場のわかつている環境にとどまり、オスのクマは繁殖相手となるメスのクマと出会う機会を増やすことを重視するため、親や兄弟から離れた新しい環境を求めるからではないかとされている。

6月ごろからクマの出没が多くなる理由の一つに子グマの親離れもかわっているかもしれない。



今年もクマの出没が非常に多く、クマによる人身事故も速いペースで発生している。そんな状況ときの対策として注目を集めており、ここ最近では品薄状態にもなっているという。

そんなクマスプレーだが、実際に使用したことがある人は少なく、持つてはいるが使い方がよくわからないという声もよく聞く。クマスプレーはクマに対する強力な武器になるが、使い方を誤れば人にとっても危険なものであるという認識を持ち、いざ必要になったときに使えるように正しい知識を身につけておく必要がある。

クマスプレーの使用における注意点は大きく分けると二つあり、一つが発射時に気をつけること、もう一つが持ち運び時に気をつけることだ。

まず発射時に気をつけるべきなのが、風向きとクマとの距離、発射時間になる。向かい風ではクマスプレーを発射してもほとんどが自分に返ってきてしまう。クマスプレーの発射距離と時間は商品の説明を確認しておくようにしよう。

持ち運び時にはすぐに取り出せるようにしておかなければならない。リュックサックの中に入れていたら取り出すのをクマが待ってくれる保証はない。ベルトやリュックの肩紐などをすぐ取り出せる場所に身につけるのが最善だ。

また、クマスプレーは保管時にもいくつか気を付けるべきことがある。幼い子供の手が届かない場所に保管すること、直射日光の当たる場所や車のトランクなど熱くなる場所にはおかないこと、底面に記載されている使用期限をチェックしておくことに気をつけよう。

クマスプレーはクマに対して有効な武器となることは間違いないが、値段も高く注意すべきことも多い。ただの高価なお守りとなってしまうまいに、正しい知識を身につけておいてもらいたい。

